平成 29 年度（2017 年度）金沢大学大学院法務研究科　入学試験問題
【Ｄ日程】小論文試験

出題の意図

著者は、前半において、現在の日本の置かれている厳しい状況を、主として、経済の観点から平易に説明し、それを踏まえて、後半において、困難な現在の状況を乗り越えるためには、知の結集が不可欠であり、その役割を担うのは言論である、と説く。その上で、言論の重要性、現在における言論の問題性、言論のあり方を論じている。

まず、受験者には、本文の力点が後半に集中していることに気付くことが求められ、かつ、問１では、随所で語られている言論の重要性を集約する能力が必要である。以上のことから、問１は、まず、受験者の読解力を見るものである。次に、問２は、著者が直接には具体的に説明していない事柄に関する出題である。自らの知見を踏まえ、また、想像力を働かせて、自己の見解をいかに論理的に叙述できるかを見ようとするものである。